

経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.81

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



昭和28年1月、太子町で創業

昭和28年にそろばん学習用教材の印刷・販売業として創業した株式会社朝日プリント社は、もともとそろばん教室を経営していた。初代社長の山田茂氏はそろばん学習の全国統一的な教材がないことに問題意識を持ち、教室経営の傍ら出版業を開始した。しばらくして初代社長は教室を譲り渡し、地域そろばん教室の活性化と業界全体の発展を願って教材の出版業に専念することとなった。

そろばん学習用教材のトップシェアを誇る

同社では教材の企画から印刷・製本、さらには通信販売までを一貫して自社で行っている。手がける教材は、長時間使用しても目が疲れにくい色合いの紙を使用したり、検定試験に慣れるために試験用紙と同じB4サイズで製本したりと、まさにそろばん学習に特化した商品となっている。

そろばん教室のデジタル化をサポート

また、3代目となる現山田社長は、売上を伸ばして会社を存続・発展させるためには、オリジナリティを確立する必要があると考え、自社発信の商品開発・改善に取り組んでいる。その一例が「そろばん暗算練習アプリ DANQ (ダンク)」だ。

同社は、そろばん教室の指導現場には「採点作業に労力や時間がかかって指導時間が削られる」という問題があることに気づき、採点作業を自動化するアプリを顧客とともに開発した。このDANQだが、単なる自動採点アプリではない。生徒はタブレットでいつでもそろばん学習ができ、先生は生徒の学習記録をデータ管理することで学習の見える化ができるという、そろばん教室のデジタル化を推進する画期的なアプリだ。そろばん教室をサポートする取り組みは作業の効率化だけにとどまらない。そろばん教室の公式LINE開設を支援するなど、個人事業主

——人間力を高め、自立した大人に——
最強の子育てツール“そろばん”で子どもの未来を育みます。

株式会社 朝日プリント社 代表取締役社長 山田 繁

にとって手が回りにくく、独力ではなかなか効果を出しにくい広報面でもサポートしている。

朝日プリント社が考える そろばんの魅力と可能性

諸説あるが、そろばんは16世紀後半に中国から伝来したといわれている。それ以来、わが国では計算道具として広く用いられてきたが、デジタル機器が普及した現代では計算に使われることはほとんどなくなっている。では、そろばんの価値はなくなってしまったのかというと決してそうではない。そろばん学習は十進法や数の概念を身につけるのに最適で、そろばんという道具は0から9までの数字さえ分かれば使うことができるので、まだひらがなや漢字を理解していない2～3歳からでも始めることができ、幼児教育にも適している。さらに、そろばん学習は計算力が身につくことや情報処理能力が高まることはもちろん、最新の研究によると、限られた時間内に集中してやり遂げる力や目標に対してコツコツと努力する力など、いわゆる“非認知能力”を高めることにも効果があるという。

今後の展望

山田社長は、「当社にはそろばんという伝統文化を未来に伝承していく使命があると考えています。そろばんが子どもの自立に有効なツールだということを保護者の方々などに広くアピールしていきたいです。」と語った。同社の今後の活躍に期待したい。

DATA

事業内容：珠算教材の製造・販売
珠算教育ソフト・アプリの企画・開発
所在地：〒671-1227 姫路市網干区和久529
電話：079-273-3501
HP：https://www.ap-asahi.jp/company/

【仙台営業所】

所在地：〒983-0038
宮城県仙台市宮城野区苦竹2丁目3-5
電話：022-236-1731